



五福っ子



令和8年4月30日発行 No.2

今年はいく『きく』子

昨年度は、『かんがえる』を呼び掛け、自分で考えることを大切に指導してきました。

例えば、廊下歩行。「なぜ走ってはいけないのか？」を一人一人が考え、ポスターにしたり互いに声を掛け合ったりしながら、安全を意識した歩行ができるようになってきました。

昨年度の『かんがえる』の次のステップとして、今年度は、『きく』を意識して、『よくきく子』を目指しています。



「きく」という言葉の意味・使い方

「聞く」・・・音・声を耳で感じ取る

「聴く」・・・注意して耳を傾ける・身を入れてきく

「訊く」・・・尋ねる

他にも「効く」「利く」など

4月の放送朝礼では、広くいろいろな人の意見や思いを聞こう、と「聞く」の話をしました。今の季節には、鳥の鳴き声や風の音など、爽やかな自然を感じる音が聞こえてきます。毎日の学校生活では、先生や友達など、いろいろな人の話を聞いています。時々ある校内の緊急放送は、放送のチャイムが鳴ったら立ち止まって静かに聞く、というルールもあります。何気なく聞き流していることに、少しでも気を留めて、感性を磨いたり確かな情報を取り入れたりすることができるようになってほしいと考えています。

PTA活動 お世話になります

4月22日（水）今年度最初の授業参観、PTA総会がありました。世帯数110のうち、55名の出席があり、PTA活動への関心の高さが伝わってきました。今年度も規約の改訂や水夏祭の日程変更などが提案され、小野田会長より詳しい説明がありました。皆さん真剣に考えてくださり、よい方向に進んでいくことと期待しています。

また、4月26日（日）には、休日にもかかわらず役員の方々が、五福小のプールにEM菌を入れてくださいました。EM菌には、水中の微生物環境を整えたり、悪臭を消したりする効果があるとのこと。5月下旬のプール掃除のためにも、また環境対策のためにも、どうもありがとうございました。

